

項目	内容
名称	広葉にんにく、ラムソズ、クマニンニク [英]Bear's Garlic、Barlauch、Ramson、Ail des Bois、Ail des Ours [学名]Allium ursinum L.
概要	広葉にんにくは、ユリ科またはネギ科の多年草。高さ30 cm程度に生長する。料理用のハーブとして使用される。イヌサフランとの誤食に注意が必要。ドイツにおいて、ドイツズランやイヌサフランなどの有毒植物との誤食による中毒事例が報告されているため、ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) から注意喚起されている。
法規・制度	■食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・グルコピラノシド (glucopyranoside) 、ケンペロール (kaempferol) 、アリイン類 (101) などを含む (PMID:8821433) 。
分析法	・アリシンなどの硫黄化合物をHPLCにて分析した報告がある (PMID:22408399) 。 ・根および鱗茎に含まれるpregnadienolone配糖体をNMRにて同定した報告がある (PMID:10934793) 。 ・フラボノイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:8821433) 。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

ヒトでの評価

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ
(34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一
(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ
(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson
[\(PMID:22408399\) Int J Mol Sci. 2012;13\(2\):1426-36.](#)
[\(PMID:10934793\) Acta Pol Pharm. 2000 Mar-Apr;57\(2\):131-3.](#)
[\(PMID:8821433\) Phytochemistry. 1996 Feb;41\(2\):531-6.](#)
(102) 食品安全委員会 : 資料管理ID syu00880260314